

(3) 授業実践 (中学2年)**ア 指導計画**

- (7) **題材** 長唄の歌唱や歌舞伎の鑑賞を通して、日本の伝統音楽のよさを味わおう
 (4) **教材** 歌舞伎「勸進帳」 三世並木五瓶 作／四世杵屋六三郎 作曲
 長唄「勸進帳」

(ウ) 題材とその指導について

中学校学習指導要領には、音楽文化についての理解を深めることが規定されている。表現領域においては曲種に応じた発声で歌うこと、鑑賞領域においては音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連して理解すること、我が国や郷土の伝統音楽の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解することが提示されている。平成29年3月に示された新学習指導要領音楽編では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することが求められるようになった。

本題材では、歌舞伎を鑑賞するという鑑賞領域と長唄を歌うという表現領域を関連させながら学習できる歌舞伎「勸進帳」を教材とした。安宅の関での関守「富樫左衛門」と「義経」をかばう「弁慶」の間答が見どころである歌舞伎十八番の「勸進帳」は、その舞台となる時代背景や登場人物については歴史の授業でも学習しているため、生徒にとって把握しやすい物語の内容であると考えられる。また、この教材で、生徒たちが現代の音楽文化と比較しながら歌舞伎が草創された時代背景を理解したり、なぜその音楽が流行し現代まで受け継がれているかを考察したりし、歌舞伎を学習させたい。そのような学習を実現するに当たって、教材に「勸進帳」を用いることにより、歌舞伎という音楽劇を表現及び鑑賞の両面から学習させ、音楽文化と豊かに関わる生徒を育成したいと考える。

指導に当たっては、生徒が歌舞伎に出てくる長唄の旋律や音色、「間」を知覚したり、生徒が今まで歌ってきた西洋的な発声と比較したりしながら長唄を歌わせたい。長唄を歌う学習活動を通して生み出された歌舞伎のよさや面白さ、特質や雰囲気を感じたことを他者と共有したり、歌舞伎が草創、確立された当時の時代背景を学習したりできるように、鑑賞や歌唱の学習活動の組合せを工夫したい。また、鑑賞、歌唱した後の話合いの場面では音楽を聴いたり口ずさんだりしながら、生徒が根拠をもって意見交換ができるよう配慮し、生徒にとっての音楽の価値を考えさせていきたい。

(イ) 題材の目標

- ・歌舞伎についての知識や長唄を歌う技能を習得、活用しながら、音楽表現を工夫したり、よさや美しさを味わって聴いたり、時代背景等と関連付けたりする学習に主体的に取り組む。
 【関心・意欲・態度】
- ・長唄を歌う声の音色や旋律の特徴を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした表現を工夫する。
 【表現の創意工夫】
- ・長唄の発声、発音、身体の使い方等の技能を身に付けて歌う。
 【表現の技能】
- ・音楽を形づくっている声や楽器の音色・旋律、日本の伝統音楽における「間」を知覚し、それらの働きが生み出すよさや面白さ、特質や雰囲気を感じながら、背景となる文化や歴史と関連付けたり、その音楽の価値を考えたりして鑑賞する。
 【鑑賞の能力】

イ 授業の様子

時	◆ねらい ○学習活動	教師の働き掛け	●評価規準 【評価方法】
第1時	<p>◆長唄のよさや美しさを味わう学習に主体的に取り組む。</p> <p>◆長唄の発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。</p>		
	<p>○事前アンケートを基に、長唄を聴いて気付いたことや感じたことを共有する。</p> <p>鑑 歌舞伎「勧進帳」の冒頭の場面を視聴し、どのような場面かを想像する。</p> <p>鑑 長唄「勧進帳」の「これやこの～山かくす」を視聴する。</p> <p>他者との共有</p> <p>表 長唄「勧進帳」の「これやこの～山かくす」を歌う。</p>	<p>事前アンケート（長唄聴取後）の回答内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の音色、音階等の旋律 ・日本の伝統音楽における「間」 ・「和を感じる」「昔の音楽」 ・声に関しては： 「響いている」「きれいだ」「おもしろい」「キーキーした声でうるさい」「つまらない」 <ul style="list-style-type: none"> ・知覚・感受したことを自由に発言させた。 ・視聴後に登場人物や舞台となっている場所、時代を確認した。 ・DVDの模範演奏を視聴し、気付きをワークシートに記入させた。 ・気付きをグループや全体で共有し、長唄の特徴をつかませた。 <p>生徒の気付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母音を延ばす（息が長い）。 ・母音を延ばしながら、音程を変える。 ・ゆっくり、はきはき ・背筋を伸ばし、おなかの底から息を出す。 <p>生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正座して歌った方が良い。 ・背筋を伸ばすとよく声が出る。 ・楽しく学習できた。 ・思ったより難しかった。 ・次はもっと声のでるようにしたい。 	<p>●歌舞伎についての知識や長唄を歌う技能を習得しながら活用する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【観察】</p> <p>【ワークシートの記述】</p> <p>●長唄の発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>【観察】</p>

<p>第 2 時</p>	<p>◆歌舞伎の特徴を理解し、歌舞伎のよさや面白さ、雰囲気を感じ取る。</p> <p>表 前時を想起しながら、長唄を歌う。</p> <p>○歌舞伎の概要について知る。</p> <p>鑑 歌舞伎「勧進帳」を視聴する。</p> <p>他者との共有</p>	<p>・前時で学習した長唄の特徴を踏まえて歌うよう促した。</p>  <p>・歌舞伎の成り立ち、「勧進帳」のあらすじについて説明した。</p> <p>・歌舞伎「勧進帳」を視聴後、音楽や演技について気付いたことをワークシートに記述させた。</p> <p>・ワークシートの記述を基に気付いたことについて意見交換させた。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">生徒の気付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セリフの内容は理解できなかったが、言っている様子で感情が伝わってきた。 ・音楽が場面に沿っていた。 ・劇がたくさんの人で成り立っていた。 ・難しくてよく分からなかった。 </div>	<p>●歌舞伎の音楽のよさや美しさを味わって聴いたり、時代背景や人々の暮らしと関連付けたりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【観察、ワークシートの記述】</p> <p>●長唄における声や楽器の音色、旋律、日本の伝統音楽における間を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を受感している。</p> <p>【観察、ワークシートの記述】</p>
	<p>◆歌舞伎における長唄の音楽の役割や効果を考え、音楽の背景となる文化や歴史と結び付けたり、価値を考えたりしながら「勧進帳」を鑑賞する。</p> <p>表 長唄「勧進帳」の「これやこの～山かくす」の部分进行を歌う。</p>	<p>・前時までの長唄の歌唱について想起させ、唱法や特徴を確認した後、歌わせた。</p> <p>・確認した唱法</p> <p>【長唄らしい声の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 腹式呼吸を基本とすること 2 持ち声を生かし、基本的には地声で歌う 	<p>●声の音色や長唄の旋律の特徴を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を受感しながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした表現</p>

第

3

時

鑑 歌舞伎における長唄の役割や効果を考える。

他者との共有

3 細かいビブラートはかけない

4 言葉がわかるように発音する

・舞踊や演技の場面を視聴し、歌舞伎における長唄の役割や効果について考えさせた。

① 長唄の役割や効果をワークシートに記入させた。

② 各グループで意見交換をさせた。



③ 話し合った内容を発表させ、その発表内容を全体で共有させた。



生徒の発言

- ・唄はナレーションの役割を果たしている。
- ・演技に迫力が出る。
- ・盛り上がる場面で長唄が演奏される。
- ・場面で、唄方や三味線方の役割が違う。
- ・歌舞伎をわかりやすく説明している。

○歌舞伎の音楽についてまとめる。

・長唄を歌ったり歌舞伎を鑑賞したりして学習した歌舞伎の特徴やよさをまとめさせた。

生徒のまとめ

- ・かぶき踊りに歴史上の人物やその時の流行を取り上げた劇の要素が加わった。
- ・三味線や笛などの他の芸能の要素を取り入れながら、総合芸術として発展し、現在も続いている。

を工夫している。

【観察】

●歌舞伎の音楽の背景となる文化や歴史と関連付けたり、その音楽の価値を考えたりして鑑賞している。

【観察、ワークシートの記述】

・井原西鶴らが活躍した時代で、現在で言う
と又吉の小説が映画やドラマになったよう
なことと似ているのではないかと思った。